

今こそ、患者・利用者・地域のみなさんの医療と介護、そして暮らしを守るために、  
全職員の知恵と力を合わせて奮闘しよう!!

# 茨城民医連・東日本大震災対策ニュース

No.5  
2011.3.31

\* 今回号から「復旧⇒対策」に名称を変更

社保「いのちの日」行動を

「東日本大震災・支援募金の訴え」に変更します。

**4月1日(金) 14:15～15:30**

**「東日本大震災・支援募金のお願い」**

一下市いのちの日健康チェック会場とその周辺一

**14:00保健生協組織部集合**

\* 直接、会場に行ってもOKです。

## ◇全日本民医連藤末会長がメッセージを!! ～5分間の動画～

全日本民医連のホームページ <http://www.min-iren.gr.jp/>で簡単に見ることができます  
支援の状況、避難所の様子、今求められている支援の内容などを、わかりやすく話しています。  
ぜひご覧ください。

### …メッセージの要約…

震災発生から2週間が経ち、医療支援の形は、救急医療から、慢性的ケア、悪化を予防する医療へとフェーズが変化してきています。

被災者の皆さんはいのちが助かった安堵感、今後の生活への不安、疲労の蓄積と心のケアが必要になってきています。また子どもの感染症が広がり、民医連の医師、看護師が感染症を防ぐためにトイレ掃除を行う状況もあります。超高齢化社会で起きた震災です。高齢者が地域に取り残され困難を抱えている状況です。

現在は「高齢者の寝たきりを防ぐ」「震災関連死を予防する医療」へのニーズが高まっています。医療支援では看護、介護、リハビリの支援が求められています。

3/30現在で、全国から、医師245人、看護師386人、技術職283人、事務361人、合計1275人が、宮城、岩手、福島に支援に入っています。支援募金 7,300 万円を突破しています。